

野洲市歴史民俗博物館協議会委員名簿

任期 令和4年5月1日から令和6年4月30日まで

氏名	選出区分・所属等
難波 洋三	考古 奈良文化財研究所客員研究員（再任）
大橋 信弥	古代 近江古代史研究会代表（再任）
母利 美和	近世 京都女子大学文学部教授（再任）
中島 誠一	民俗 成安造形大学・滋賀文教短期大学講師（新任）
井上 一稔	美術工芸 同志社大学文学部教授（再任）
今井 早奈枝	野洲市文化財保護審議会委員（再任）
竹内 和子	博物館友の会代表 歴史民俗博物館友の会理事（再任）
細谷 亜紀子	小学校校長会代表 野洲市立篠原小学校校長（新任）
光永 智	中学校校長会代表 野洲市立中主中学校校長（新任）
江竜 康成	地元高等学校代表 滋賀県立野洲高等学校校長（再任）

令和4年度野洲市歴史民俗博物館協議会結果要録

日 時	令和4年11月14日(月) 10:00~12:00
場 所	歴史民俗博物館研修室
出席委員	難波洋三・今井早奈枝・母利美和・大橋信弥・中島誠一 ・江竜康成
欠席委員	井上一稔・細谷亜紀子・光永智・竹内和子
事務局	西村健教育長・行俊勉館長・齊藤慶一学芸員・鈴木茂学芸員

開会あいさつ

昭和63年11月の開館から30年以上が過ぎ、来年には開館35周年を迎える。協議会委員、友の会や市民のみなさまをはじめ多くの方々にお支えいただき、深く感謝申し上げたい。なお、昨年新型コロナウイルス感染症の影響から延期していた講演会等も昨年度後半から今年度にかけて実施することができた。

本日の会議では、今年度の事業報告や次年度の事業計画等について、委員の皆様のご意見をいただきたい。

委員紹介・職員紹介(自己紹介)

市内の中学校代表として光永智先生に就任、市内の小学校代表として細谷亜紀子先生に就任、また学識経験者(民俗学)として中島誠一先生に就任していただいたことを報告。

正・副委員長選出(互選で任期は2年)

委員長 難波洋三委員 副委員長 今井早奈枝委員

報告事項

1) 令和3年度事業実績報告について

・主要事業と前回の協議会以降に実施した事業を中心に報告

- 委員 市史編さん事業について調査結果などは刊行物等にまとめているのか。
- 事務局 過去に資料集等は刊行しており、令和3年度は紀要や市史編さんだより等で成果をまとめている。
- 委員 他市等では市史が刊行されると市史編さん事業を取りやめることも多いが、地域を調査することは非常に重要であり継続してほしい。
- 委員 体験学習について、新型コロナウイルス感染症が拡大する以前ぐらいまで戻ってきたのか。
- 事務局 全体的な数字としては、まだまだだが、徐々には戻ってきていると思われる。
- 委員 現在も、新型コロナウイルス感染症対策は続けているのか。何か指針はあるのか。

- 事務局 現在は国・県等の指針がないため、市で考えて対策を行っている。
- 委員 市民等から寄贈や寄託等の申請はあるか。
- 事務局 随時、受け入れており今年も申請はあった。
- 委員 文書等の文字資料は、最近ネットオークション等で販売されてしまうことが多く、一度、流出してしまうと追うことができなくなってしまう。これを防ぐためにも、寄贈だけでなく寄託を積極的に受け入れてほしい。

2) 令和4年度事業経過報告と今後の予定について

・今年度の事業経過について報告

- 委員 どうたくサロンについて、講師の選出などはどうしているのか。
- 事務局 友の会とも協議し、職員だけでなく会員や市内で文化活動している方など、広い範囲で選出していく。
- 委員 展示替えの際に、展示説明などを行う取り組みも考えてみてはどうか。
- 委員 事業を新しく増やすことは良いことだが、業務が増えることによって職員の負担を増やさないでほしい。随時、事業の見直しをはかり、やめてもよい事業はやめるなど「スクラップ&ビルド」を意識し改善して欲しい。
特に、良い博物館運営をしていくには、学芸員の調査・研究が重要であり、そういった時間を確保できるようにしてほしい。
- 委員 長く続いている良い事業の1つとして「銅鐸研究会」がある。野洲市歴史民俗博物館は、地域の博物館と銅鐸専門の博物館の2面性をもつことがアイデンティティであり、ぜひとも続けてほしい。また、昨年度の展覧会の様に、定期的に銅鐸に特化したイベント等も企画してほしい。
- 委員 過去に開催した講演会・企画展のテーマを繰り返し行うことも大切だと思う。同じテーマの展示や話を何回も聞きたい、見たい、という利用者も多いと思う。
- 委員 永原御殿に関しては、地元とも協力してイベントや展示を行ってほしい。今年度は文化財保護課と地元が協力して企画した発掘体験や博物館にある永原御殿の模型等の見学会もあり、評判が良かった。
- 委員 距離があるため、難しいと思われるが、現地と展示を結びつけるようなイベント等をしてほしいと思われる。また御殿に関連する遺跡等が所在する他市町村や他府県とも連携等してほしい。

3) 令和5年度予算要求や来年度事業について

・来年度の事業予定について報告

- 委員 秋期企画展について、展示の中心になる銅鏡は、近年の研究成果では野洲市の甲山古墳から出土したと確実視されているものである。また、同范の銅鏡が、武寧王陵（韓国公州市）や綿貫観音山古墳（群馬県高崎市）から出土しており、国内外の交流等を考えるうえで重要な資料である。これが里帰りすることは非常に意義がある。
- 委員 展示タイトルについてはもっと自由に考えてもらいたい。もう少しキャッチーな用語を使用してもよいと思う。

また、一般の利用者にとっては継体天皇がどういった人物であるのかを知っている方は少ないと思われるため、そういった概説等も含めての展示を行ってほしい。

4) その他

- 委員 博物館内に小学校から送られてきたと思われる寄せ書きが飾ってあったが、この博物館が子どもにとって良い博物館であることが伺えてよい。
- 委員 最近、野洲市の観光物産協会がドウタクくん・やよいちゃんのダンボール工作キットを売り出しているが知っているか。
- 事務局 承知しており、当館でも受託販売している。なお、他にもピンバッジやキーホルダー等も受託販売している。
- 委員 今年の10月1日から大人の入館料が300円に値上げしているようであるが。
- 事務局 市の行財政改革の一環で使用料の見直しがあり改定した。
- 事務局 野洲市教育委員会では、所管事務のうち文化・スポーツ・文化財に関する事務を、市長部局へ移管することを検討してきた。市長部局と協議の結果、博物館・史跡公園については、移管する方向性は変わらないものの、移管する年度については次年度以降に検討することになった。

- 事務局 いただいたご意見を活かし、よりよい博物館の運営につとめていきたい。

閉会